

加盟校・加盟員・関係者の皆さまへ

2022年 7月 27日  
関東学生ゴルフ連盟  
感染対策委員会

## 秋季（8月）以降の競技開催において、感染対策委員会より追加のお知らせ

平素より本連盟の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また本連盟の感染対策面で多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

首都圏の感染者数が、急拡大している状況下での競技開催を余儀なくされる最中、関東学生、関東女子学生本選を皮切りに、いよいよ後半戦となる秋季対抗戦も始まります。つきましては後半戦の感染対策において、新たにお知らせがございますので、下記にお伝えさせていただきます。

その具体的内容は、

**【同一校から2名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場できません。（但し活動拠点が全く別で、普段からの接触がないことが証明された場合この限りではありません）】**

という注意喚起文が、本連盟各競技における「感染対策要項」には、添えられていましたが、

↓ 後半戦（8月）以降の競技は、諸状況に対応し、以下の通りに変更させていただきます。

**【同一校部員から（1名以上）陽性者が出た場合、当該校の他の選手に関しては、陰性が確認され、且つ、その陽性者たちと濃厚接触(定義はガイドライン P25 参照)していないと確実に判断できるならば、出場を認可します。】**

濃厚接触者となった場合は、安全管理上、出場できません。また、少しでも不安があると自覚される方は濃厚接触者扱いとなります。感染を拡げない為にもご周知ください。

・陽性者が認められた大学は、本連盟にも必ずご一報下さい。

(ご報告頂くことで、全容が掴むことができ、感染対策面でも役立てることが可能となります)

但し、出場を認可された当該校の選手全員（ギャラリー、関係者含む）は、安全管理上、以下の点を留意・遵守して下さい。

①**該当競技の指定練習日前日の夕刻（練習日がない場合、試合前日の夕刻）に必ず抗原検査を行ない、陰性確認を行う。**

→ **陰性を確認できれば出場認可、陽性の場合には出場不可となります。**

②また、指定練習日を含む試合期間中に体調チェックシートに記載されている症状（発熱、喉痛、せき、倦怠感、味覚障害など）が新たに出現した場合は、基本出場停止となりますが、可及的速やかに抗原検査を行った上で、陰性ならば学連に報告をし、判断を仰いで下さい。

➡**この場合、学連側で出場継続許可の判断が下ったとしても、2日間競技でも4日間競技でも毎日、試合前日の夕刻に抗原検査を行なうこととします。**

これを行うことで安全確認の精度が飛躍的に増します。（寮生活や合同部活等の背景もあり、陽性者が出た場合、罹患しているにもかかわらず、1回の抗原検査では、偽陰性の可能性も否定できない為）

**\*①・②の場合、検査キットは予め当該大学でご用意下さい。検査費用は当該大学負担とさせて頂きます。出場できなくなる状況からレスキューする個別の措置として、ご協力ご理解下さい。**

上記に関しては、当該校責任者（指導者の方、主将主務）の管理のもと、適正に行って頂き、本連盟の競技運営責任者（委員長、競技委員長、学生感染対策委員リーダー）にご報告下さい。

③また、安心・安全に運営して行く為、2名以上陽性者が存在した当該校の大学名は、当該試合に出場している他大学の責任者（指導者の方、主将主務或は準じる者）にはお知らせをし、学校バブルシステム施行する際の注意喚起（濃厚接触、ソーシャルディスタンスなど）としてケアさせて頂きますので、ご承知おき下さい。ガイドラインに従って試合当日の行動を徹底すれば学校

内の感染までで留められるはず（公共の福祉を乱さない）という基本概念により、こういった周知がより感染拡大予防(公共の福祉)に貢献すると判断した次第です。

付記：対抗戦でのギャラリーに関しては、その人数的な多さから、競技2週間前のガイドラインに則って生活されている方々の人選を、適切な責任者裁量にてお願い致します。

以上が、感染対策委員会から追加のお知らせです。感染状況や政府・自治体の対応も刻々と変化しております。その状況次第で、新たなお知らせを発信する場合がございます。引き続きこまめなホームページチェックをお願い致します。

また、予想をはるかに上回る急激な感染拡大となり、今回のお知らせが、8月からの競技開始直前となったことをお詫び申し上げます。

後半戦の競技を控え、選手、関係者の皆さまには、日々の生活を健やかに過ごされ、万全の状態で試合に臨まれることをお祈り申し上げます。

感染対策委員会リーダー 金井毅